

## 会 議 議 事 録

1 会議名	第33回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会
2 開催日時	令和5年1月27日（金曜日）から 令和5年2月28日（火曜日）まで
3 開催場所	書面表決 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、委員からの意見聴取による書面審議とした)
4 出席者名	委員：小林委員（委員長）・内山委員（副委員長）・安藤委員・ 小野委員・宇賀田委員・笹川委員・星野委員・渡辺委員 事務局：安達教育部長、小熊科学博物館長、神保館長補佐、 小林主査
5 欠席者名	なし
6 議題	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について 議題（1）令和4年度事業の実施状況について 議題（2）令和5年度の事業計画について
7 審議結果の概要	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について ・議題（1）について、事務局から書面で報告した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。 ・議題（2）について、事務局から書面で説明した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。
8 審議の内容	別紙「書面表決の集約結果」及び「令和3年度馬高・三十稲場遺跡保存活用委員会書面表決結果」のとおり
9 会議資料	別添のとおり

## 書面表決の集約結果

### 1 令和4年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について

・承認 8/8

### 2 令和5年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画(案)について

・承認 8/8

### 3 令和4年度の実施状況報告について

安藤 委員	・年間ご苦労様でした。
小野 委員	・事業の項目は多様にして、多数回あり。 ・ほとんど展開が満開状況にあるように見受けられます。 ・よくこなしていると思い、当方にはなかなか想像がつかないくらいです。
宇賀田 委員	・厳しい状況の中にあっても可能な限り利用団体を受け入れていただきありがとうございます。今後とも事業が充実発展していくよう進めていただけるとありがたいです。
内山 委員	・体験イベントは良い経験になるし、特に実績豊かな講師が参加されるイベントは有用と思われる。
星野 委員	・コロナ感染がなかなか終息に向かない中で、これだけの事業が計画通り行われ、また、参加者も増えていることにほっとしています。 ・中止せざる得なかったイベントについても、次年度開催できることを願っています。 ・延期になっていたイギリスのストーンヘンジビジターセンターへの火焰型土器の展示が今年度ついに実現できよかった。
渡辺 委員	・「展示解説リーフレット」表紙にある火焰土器ミュージアム HP アドレスも、「行事案内リーフレット」のように QR コードの表記があると便利です。 ・<資料 3> 11/26~3/12 企画展「縄文石器入門」はコロナ禍、冬場の影響があり入館者数の伸び悩みは仕方ないことだと思います。逆に、雪のない県外客等をターゲットに雪を利用した楽しい屋外活動（かまくら作り、どんど焼き...）など企画できないでしょうか。

#### 4 令和5年度の事業計画について

安藤 委員	・今年度もよろしくお願ひします。
小野 委員	・新年度も進められますよう期待します。
宇賀田 委員	・魅力的な事業が多々計画されており、興味深く感じております。ぜひ推進をお願いします。
内山 委員	・大英博物館との交流は素晴らしい。今後とも継続が望ましい。
星野 委員	・市民協働イベントや関原地区との連携した事業が予定されていますが、継続事業として実施してほしいと思っています。 ・ストーンヘンジビジターセンターへの火焰型土器の展示の様子と反響を広く市民に紹介する機会はあるのでしょうか。
渡辺 委員	・コロナ禍の中、出前授業、体験教室等の継続的な実施は評価に値します。今後も引き続き、県内外多方面から興味関心を持ってもらい、出前授業の要請や来館者が増えるような事業内容や広報を期待しております。

#### 5 その他

安藤 委員	・まだまだコロナ禍、スタッフ皆様充分に気を付けられましてお過ごし御活躍ください。
小野 委員	・前年度の活動報告が数値を伴って提示され、具体的にイメージは理解できます。例えば資料2のイベント一覧を見ますとイベントの準備には労力が必要と思いますが、定員参加者数が細かく分かれイベント回数が非常に多いと感じます。 最低5か年のデータをグラフにして見れたらどうでしょう。回数を減らして人数を少し増すなど担当する側が放電状態になっているのではないかと心配になります。自己評価の点検を試みることも必要かと思ひます。
宇賀田 委員	・資料の準備大変ありがとうございます。 ・資料の郵送もよいですが、情報をメールで配信しメールで回答することもよいのではないのでしょうか。ご一考をお願いします。
星野 委員	・「馬高縄文館」のリーフレットデザインがとても明るく目をひきました。また、体験イベント紹介がわかりやすく、体験したくなるようなデザインだと感じました。 ・日本が誇る火焰型土器はイギリスでも認知されています。市民県民にとって大事な宝物であることを多くの人々にPRできる機会をたくさん作ってほしいと思ひました。

	<p>・そんな意味からも文京区の子供たちが、馬高縄文館を訪れてくれたことはうれしいことでした。</p>
--	---

## 令和4年度 馬高・三十稲場遺跡保存活用委員会書面表決結果

### 1 令和4年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について

・承認 8/8

### 2 令和5年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画(案)について

・承認 8/8

### 3 令和4年度の実施状況報告について

項目	意見趣旨	回答要旨
イベントの次年度開催	・中止せざる得なかったイベントについても、次年度開催できることを願っています。	・新型コロナウイルスへの対応で参加者などを減らしておりましたが、政府からの要請の変更などを見ながら、次年度以降は徐々にコロナ禍前の参加者数などに戻していきたいと考えています。
リーフレットのQRコード	・「展示解説リーフレット」表紙にある火焰土器ミュージアムHPアドレスも、「行事案内リーフレット」のようにQRコードの表記があると便利です。	・次年度より各種案内などにQRコードの添付を心がけたいと思います。
冬期のイベントについて	・雪のない県外客等をターゲットに雪を利用した楽しい屋外活動（かまくら作り、どんど焼き...）など企画できないでしょうか	・雪国の文化については、馬高・三十稲場遺跡もかかわっている日本遺産事業でも重要な観点であるため、できるイベントがあるかななどを検討していきます。

### 4 令和5年度の事業計画について

項目	意見趣旨	回答要旨
イギリスとの交流につ	・ストーンヘンジビジターセンターへの火焰型土器の展示の様子と反響を	・科学博物館のFacebookなどで紹介をしておりましたが、広く

いて	<p>く市民に紹介する機会はあるのでしょうか。</p> <p>・大英博物館との交流は素晴らしい。今後とも継続が望ましい。</p>	<p>認知がされるよう広報誌やマスメディアの活用などを考えていきたいと思います。</p> <p>また、海外への発信については総務省による事業により、イギリスとフランスにおいてテレビ番組で PR 動画の放映なども行っており、今後も交流・PR を続けていく予定です。</p>
事業内容・広報の充実について	<p>今後も引き続き、県内外多方面から興味関心を持ってもらい、出前授業の要請や来館者が増えるような事業内容や広報を期待しております。</p>	<p>・県域を越えた旅行が再開されたことから、長岡市内の観光資源の 1 つとしての活用や修学旅行などの教育旅行先としての宣伝を行っていきます。</p>

## 5 その他

項目	意見趣旨	回答要旨
事業点検について	<p>・最低 5 か年のデータをグラフに見れたらどうでしょう。回数を減らして人数を少し増すなど担当する側が放電状態になっているのではないかと心配になります。自己評価の点検を試みることも必要かと思えます。</p>	<p>・新規のイベントなども行っているが、これまでのイベントについてはそのまま実施してきた。ご指摘のとおり、内容や参加者数などを点検し、事業の評価や修正を行っていきます。</p>
PR 機会と県外からの来報について	<p>・日本が誇る火焰型土器はイギリスでも認知されています。市民県民にとって大事な宝物であることを多くの人々に PR できる機会をたくさん作ってほしいと思いました。</p> <p>そんな意味からも文京区の子供たちが、馬高縄文館を訪れてくれたことはうれしいことでした。</p>	<p>・総務省の事業によるイギリス、フランスでの PR 動画の公開やストーンヘンジビジターセンターでの火焰型土器の展示協力などを行い海外での PR を進めており、海外からの来館も考えられる。展示の英語表記など海外からの観光客誘致のために必要な対応を考えていきます。</p> <p>また、文京区小学校の利用は、魚沼市への修学旅行の一環としての来館です。今後も続けていくとともに、長岡市観光コンベ</p>

		ンション協会と協力して教育旅行への活用を模索していきます。
資料の送付方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の郵送もよいですが、情報をメールで配信しメールで回答することもよいのではないのでしょうか。</li> <li>ご一考をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内など確実にお手元に届くように郵送にさせてもらっていますが、資料やご意見の集約などにデジタルやインターネットの活用を考えていきたいと思えます。</li> </ul>